



2026年2月10日掲載

高市自民党大勝とNYダウ最高値

衆院選で自民党が単独で定数の3分の2超の議席を獲得する大勝利となり、高市政権の政策実行力が強まるとの期待から株高が継続しそうです。

一方で、AI(人工知能)・半導体業界のデータセンター投資の影響が幅広い企業の収益に波及するなど期待され、ニューヨーク・ダウ工業株30種平均が2月6日に歴史的な高値である5万ドルを超えました。

今年はAIの競争激化が明確になりブレは大きくなりそうですが、底流にあるテックの成長パワーは落ちていないでしょう。

自民党は党員の人気が高かった石破茂前首相のもとで戦った2024年の衆院選と25年の参院選で勝てず、当時党員人気と同程度であった高市氏が今回の選挙に勝ったことは、今後の政策を占ううえで重要でしょう。つまり、単なる人気ではなく経済政策を変える、財政の考え方を変えることがパワーにつながったとみる必要があります。

消費税減税は選挙中に踏み込まなかったものの、財政の考え方をこれまでより機動的にすることで、長らく政治の恩恵を感じられなかった消費者に対してインフレ対策などを施し、結果として消費がけん引する日本の成長につながると期待したいです。

しばらくはいわゆる高市トレードが続き、株高のなか、放漫財政懸念からの長期金利上昇、円安がみられるかもしれません。しかし、政権側の説明強化による財政安定期待拡大、金利上昇容認姿勢による円安の歯止め、日銀の金利政策の機動性拡大などから、年後半までに消費がけん引する株高、長期金利安定、円高の「シン・高市トレード」に移っていくとみています。

(アモーヴァ・アセットマネジメント チーフ・ストラテジスト 神山 直樹)

※2025年9月1日、日興アセットマネジメント株式会社はアモーヴァ・アセットマネジメント株式会社に社名変更しました。

《本資料は執筆者の見解を記したものであり、当社としての見通しとは必ずしも一致しません。本資料のデータは各種の情報源から入手したのですが、正確性、完全性を全面的に保証するものではありません。また、作成時点で入手可能なデータに基づき経済・金融情報を提供するものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客さまご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。》